

# 平成 28 年第 4 回庄原市議会定例会

## 一般質問通告者 及び 質問事項

12月15日～12月19日

### 質問順位

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 近藤久子  | 2. 横路政之  |
| 3. 林高正   | 4. 谷口隆明  |
| 5. 吉方明美  | 6. 宇江田豊彦 |
| 7. 徳永泰臣  | 8. 赤木忠徳  |
| 9. 松浦昇   | 10. 福山権二 |
| 11. 岡村信吉 | 12. 政野太  |

庄原市議会

# 平成28年12月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	近藤久子	文化の拠点施設となる市民会館整備に向けて	1
		市長及び管理職は「イクボス宣言」を	1
2	横路政之	わが町に五輪選手を	2
		公共施設等の現状と課題について	2
		引きこもり者の社会復帰支援について	3
3	林 高正	板橋小学校のトイレ不足等について	4
		市民会館と庄原自治振興センターの現状認識と将来ビジョンについて	4
		田園文化センターの課題について	4
4	谷口隆明	こども未来広場（仮称）について	5
		学校再配置について	6
		山林境界明確化事業について	6
5	吉方明美	本市における墓地のあり方について	7
		庄原小学校の放課後児童クラブについて	9
6	宇江田豊彦	小中学校における教職員の超過勤務について	10
		「庄原市人権教育・啓発推進プラン」の進捗状況について	11
7	徳永泰臣	比婆山連峰の今後の活用について	12
8	赤木忠徳	平成28年度予算の執行状況を踏まえて本市の未来を創造する	14
9	松浦 昇	障害者差別解消法を生かし市民が安心して住めるまちづくりを進めることについて	16
		担い手の確保と耕作放棄地を増大させない取り組みについて	17
		土曜日、日曜日の窓口業務の本庁実施について	18
10	福山権二	木山市政の4年間の総括について	19
11	岡村信吉	庄原いちばんづくりについて	20
		学校の適正規模・配置の検討について	21
12	政野 太	超高速情報通信網等の利活用について	23
		広報・広聴事業について	23
		中学校クラブ活動の充実について	23

## 一般質問日程

12月15日（木）近藤久子・横路政之・林 高正・谷口隆明

12月16日（金）吉方明美・宇江田豊彦・徳永泰臣・赤木忠徳

12月19日（月）松浦 昇・福山権二・岡村信信・政野 太

順位	1	質問者	近藤 久子
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 文化の拠点施設となる市民会館整備に向けて	<p>ことしの広報しょうばら4月号に、市長の平成28年度施政方針が掲載されている。</p> <p>その中で、第2期長期総合計画のもと、中長期を展望した重要な課題・取り組みとして、公共施設の再編・再配置を含む総合的なランドデザインについて述べられている。特に、中心市街地に立地する庄原市民会館・庄原自治振興センターについては、老朽化が進んでおり、近い将来、整備の方向性を決断するため、平成28年度から調査・検討に着手するというメッセージを市民に対し送られた。</p> <p>また、田園文化センターの借地契約が平成30年3月末で切れることも含め、総合的な文化の拠点施設も視野に入りたいと担当課からの説明もあった。</p> <p>平成28年度～30年度までの新規事業費として、本年度200万円を調査検討のため計上されているが、いつ、どのような芸術文化活動・生涯学習の拠点施設の将来像を市民に示されるのか伺う。</p>		市長 教育長
2. 市長及び管理職は「イクボス宣言」を	<p>市役所は他の企業の模範となるべきであり、職場でともに働く職員のワーク・ライフ・バランスを考えるためにも、「イクボス宣言」は有効かつ先進的な取り組みと考えるが、見解を伺う。</p>		市長

順位	2	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. わが町に五輪選手を	<p>2020（平成 32）年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、全国各地の自治体が、参加国の選手や関係者の事前合宿などを誘致し、住民との相互交流を深める国のホストタウン事業がある。地域活性化への期待も高く、現在、91 件（122 自治体）が登録されている。</p> <p>本市においては、金藤理絵選手の金メダル獲得で大変な盛り上がりを見せた。このような盛り上がりを一過性で終わらせるのではなく次につなげていくためにも、国のホストタウン事業に登録するべきと思うが考えを伺う。</p>		市長
2. 公共施設等の現状と課題について	<p>公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として、庄原市公共施設等総合管理計画が策定された。これにより総延床面積を20年間で25%縮減する方向性も示された。この目標達成のためには住民の理解が不可欠である。三原市では、全ての公共施設の利用状況、維持管理費など基本情報を記した「施設カルテ」をホームページで公開している。</p> <p>（1）本市においても、人口減少に伴い将来的に効果が薄れる施設の現状を認識してもらい、市民と危機意識を共有するため、ホームページ等に公共施設の基本情報を掲載してはどうか伺う。</p>		市長

順位	2	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
2.公共施設等の 現状と課題に ついて	(2) また、他のインフラ資産である道路、 農林道、橋梁、下水道及び上水道について も、同様に情報を公開してはどうか伺う。		市長	
3. 引きこもり者 の社会復帰支 援について	<p>現役世代の不就労者・引きこもりの増加は、 地域の活性化に影響するだけでなく、高齢家 族の負担となっている。近年では引きこもり の高齢化も進んでおり、年齢が高くなるほど 抱える家族の負担は重くなり、支援が難しく なっている。本来、親の世代が年金を受給し、 社会保障の恩恵を受けるべきであるのに、子 どもが社会復帰できない、または不就労の状 態が続き、やがて生活困窮に至る場合もある。</p> <p>(1) 本市における引きこもり対策として、 どのようなものがあるか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 多くの制度は、本人、家族からの相談 に基づき対応する制度となっている。本市 全体での実態調査を実施し、もっと能動的 に対応すべきではないか、考えを伺う。</p>		市長	

順位	3	質問者	林 高正
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 板橋小学校の トイレ不足等 について	<p>校舎1階では、1年生27名、2年生25名、3年生35名の合計87名が勉学に励んでいる。しかし、児童用のトイレは男女それぞれ1カ所で、男子は小便器4、和式便器2、女子は和式便器4のみで、男女ともに列ができるほどトイレの不足は深刻と聞いている。対応が必要なのではないか。また、昨年12月議会でも、トイレの洋式化についてただしたが、その後の進展についてあわせて伺う。</p> <p>加えて、災害時の避難場所にもなっているが、十分に対応できる状況なのか伺う。</p>		市長 教育長
2. 市民会館と庄 原自治振興セ ンターの現状 認識と将来ビ ジョンについ て	<p>これまでも多くの議員がこの問題をただしてきたが、明快な答弁は一度もなかったように記憶している。触れてはいけない問題なのかと勘ぐりたくもなる。これらの施設の現状をどのように認識しているのか。また、この2つの目的を持った施設の将来ビジョンをどのように考えているのか伺う。</p>		市長 教育長
3. 田園文化セン ターの課題に ついて	<p>以前より、施設整備についての提言を行っているが、どのように検討されているのか。</p> <p>また、借地であるが、将来的に購入する計画があるのか、総合的な考えを伺う。</p>		市長 教育長

順位	4	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. こども未来広 場（仮称）につ いて	(1) 年度当初には全く計画のなかった約9億円の大型事業である。事業の背景と提案に至るまで、どのような検討が行われたのか、その経過を問う。		市長
	(2) 庄原市公共施設等総合管理計画などの視点から、遊休地や遊休施設の活用など総合的な検討は行ったのか。また、市の休日診療センターの活用や庄原赤十字病院の小児科体制の強化など、別の方策も考えられるのではないかと問う。		
	(3) これまで取り組んできた経過や関係者に説明してきたことの大幅な変更であり、しっかり市民、特に子育て世代の意見をよく聞いて進めるべきと考える。なぜ今回に限って、審議会等を持たなかったのかと問う。		
	(4) 長期総合計画の「実施計画」に計上したのから事業実施をするという基本ルール（計画行政）を執行者自らが破ることになるのではないかと問う。また、財政計画の変更は必要ないと説明だが、その理由を問う。		
	(5) 民間関係者との協議が先行し、市民や市職員、議会は後回しになっていると思わざるを得ない。議会も議決すれば責任を問われる。なぜもっと慎重な取り組みができないのか、最後に改めて問う。		

順位	4	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 学校再配置について	<p>(1) 本市の学校再配置の基本的な考えを伺う。文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を参考にされていると思うが、特に、その中で「留意すべき点」として、学校づくりとまち（地域）づくりとの密接なかかわり、保護者・地域住民の支え、地域住民や学校支援組織の十分な理解と協力を得て進めることが大切とされていることについて、教育委員会の考えを伺う。</p> <p>(2) 僻地教育と複式教育の伝統と成果の蓄積、継承はどのように行われているのか、今後の課題を伺う。</p>		教育長
3. 山林境界明確化事業について	<p>(1) 地籍調査の進捗率が低い中で、森林の境界の明確化は待ったなしの課題であり、森林組合のGPSを活用した明確化作業は有益と考える。今後の林業振興の基盤づくりとして、各森林組合と連携して明確化の作業を推進すべきと考える。市長の見解を問う。</p> <p>(2) 以前検討中とのことであったが、GPS活用調査を山林の地籍調査の代替措置として活かさないのか伺う。</p>		市長

順位	5	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 本市における 墓地のあり方 について	<p>本市の人口は、私たちの願いとは裏腹に、減少傾向にある。その事実に対して真摯に向き合い、これからのまちづくりを進める必要がある。そのためには、集落の中が機能的で整備されたものであることが求められる。そこで、早急に解決しなければならない事項として、墓と仏壇の問題がある。この問題が住環境への悪影響となり、空き家対策が進展しないことのネックとなっている。</p> <p>次の点について市長の見解を求める。</p> <p>(1) 本市において、地域の共同墓地では、墓地所有者の高齢化が進んでいる。そして、急傾斜の位置にある共同墓地への墓参りが難しくなったことから自宅の周辺へ墓地を移転する、あるいは、後継者が本市に居住していない場合、子どもの居住地へ墓と仏壇と自身も一緒に転居するケースがふえている。残された共同墓地は、今後どのような状態になっていくと認識しているのか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 本市には市営の墓地が2カ所ある。この墓地の扱いと同様に、ほかに存在する墓地の管理を行政が支援する必要があると考えるが、市長の考えを伺う。</p>		市長

順位	5	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 本市における 墓地のあり方 について	<p>(3) ふるさと納税の返礼品の中に、墓地管理サービスを追加してはどうか。寄付をすることで、返礼の品として自分の墓地の管理（墓石の清掃、草刈りなど）をしてもらえるのであれば、受け入れられると思うが、市長の考えを伺う。</p>		市 長
	<p>(4) 先祖の墓と仏壇の整理支援は、空き家バンクへの登録の有効な対応策であり、入居希望者が増えるのではないかと思うが、市長の考えを伺う。</p>		
	<p>(5) 新たに市営の共同墓地を整備し、個人の墓地を求めなくても、安心して本市で暮らせる環境づくりが必要ではないか。特にIターン、Uターンで移住して来た方たちへ対して必要ではないか。また、整備に当たっては、高齢者世帯が増加傾向にある中、安心して人生の終末を迎えるためにも、本市が責任を持って申うことが必要であると思う。そのため、宗教・宗派を問わない市営の公園墓地及び合同納骨堂を整備することが必要と考えるが、市長の考えを伺う。</p>		

順位	5	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 庄原小学校の 放課後児童ク ラブについて	<p>放課後の児童の居場所として放課後児童クラブがあるが、そのあり方について問う。</p> <p>今回提案されている、こども未来広場（仮称）において、庄原小学校の放課後児童クラブを新たに建設される計画が出されているが、安全性に問題があると思われる。学校から移動するために、自動車が頻繁に往来する車道を横断することになるが、どのように交通事故から守ることができるか、その安全性が担保されていない。</p> <p>今回、計画を変更し、新たな場所を選定された理由について伺う。</p>		市長 教育長

順位	6	質問者	宇江田 豊彦	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 小中学校における教職員の超過勤務について	<p>昨年12月議会の一般質問の答弁において、教育長は「学校教育においては、教育は人なりという言葉があるように、よい教育のためには優れた教職員が不可欠である。子どもに力をつける教育環境の充実を図るには、教職員の力によるところが最も大きいと認識している」と答弁されている。</p> <p>しかし、かねてより指摘している教職員の超過勤務実態は改善されておらず、なお深刻な状況が続いていると認識している。</p> <p>教育長も認識を明らかにされているが、学校教育における最大の教育条件である教職員が、多忙で長時間勤務にある現状では、良好な教育実践が困難だと思われる。そこで、改善へ向けての取り組みについて具体的に伺う。</p> <p>(1) 超過勤務の実態はどのようになっているのか伺う。あわせて要因についても明らかにされたい。</p> <p>-----</p> <p>(2) 今後の数値的目標のあり方について、どのように考えているのか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 今こそ、本気で超過勤務解消に向けて取り組まなければ、より深刻な新たな課題をも生起させることにつながる恐れもある。業務の効率化はもちろん、業務の削減、教職員の人数をふやすなど、思い切った取</p>		教育長	

順位	6	質問者	宇江田 豊彦
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 小中学校における教職員の超過勤務について	<p>り組みが必要と思うが、認識を伺う。</p> <p>(4) 各学校の教職員が超過勤務縮減のため、今一番何を改善してほしいと考えていると認識しているのか伺う。</p>		教育長
2. 「庄原市人権教育・啓発推進プラン」の進捗状況について	<p>人権の世紀といわれた 21 世紀も、格差社会がより深刻化する中で差別事象も多く発生している。このような状況の中、「庄原市人権教育・啓発推進プラン」がどのように機能しているのか具体的に伺う。</p> <p>(1) 本プランを進めるためには、まず今日の人権を取り巻く情勢を把握することが大切と考えるが、本市の人権に関する情勢をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(2) 各人権課題に対する取り組みが必要であり、あらゆる市政窓口において相談・啓発を進めるとしているが、十分に機能しているのか伺う。</p> <p>(3) 推進体制の充実について、国内外の動向や社会経済の変化に応じた施策を的確に推進するため、「庄原市人権教育・啓発推進本部」を組織し、効果的に本プランを進めるとしているが、どのような議論が進められてきたのか伺う。</p> <p>(4) 本プラン推進のため、総合窓口としての人権推進課が必要と思うが、認識を伺う。</p>		市長

順位	7	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 比婆山連峰の 今後の活用について	<p>古事記編纂から 1,300 年が経過し、出雲地方ではかなり大規模な行事が行われ、多くの集客も図られたと聞いている。</p> <p>本市では、ほとんど何も行われなかったが、木山市長は比婆いざなみ街道物語として打ち出し、このたびも「日本誕生の女神 伊邪那美が眠る比婆の山」を出版され、広く多くの皆さんに興味を持っていただいていると思う。</p> <p>しかし、吾妻山、比婆山、道後山、帝釈峡、こうした国定公園が本市の中にあるながら、観光地としての認知度も低く、それぞれがつながっておらず、とても残念なことである。</p> <p>(1) 比婆山には国生みの女神が葬られていると伝わる御陵があり、これをもっと世の中に宣伝する必要があると思うし、これらを結んで、さらに観光を広げる必要がある。出雲は、出雲神話としてうまく観光に活用している。本市の比婆山神話は余り広がっていない。これをどのように広げようとしているのか伺う。</p>		市長 教育長

順位	7	質問者	徳永 泰臣
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 比婆山連峰の 今後の活用について	<p>(2) この「日本誕生の女神 伊邪那美が眠る比婆の山」の中でも記載されている比婆山信仰圏について、広範囲の連携が必要であると思う。特に奥出雲町、日南町との連携が重要であるが、考えを伺う。</p> <p>(3) 尾道松江道の全線開通により、出雲大社や尾道、厳島神社等は観光コースとして確立され、比婆山信仰圏は一通過点となりつつある。ここで庄原市がイニシアチブをとり、日本書紀に登場する三重県熊野市の世界遺産「花の窟」などと連携し、インバウンド等の観光客を呼び込み、一通過点でなく、滞在スペースとなる方策を展開していく必要があるが、考えを伺う。</p> <p>(4) 比婆山御陵には全盛期には、1日3万人の方が参拝されていたと聞く。その地にある門楯等の保存が不十分であり、文化財指定を行う等、適切に対応すべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>(5) 近年、トレッキングブームで女性登山者も急増している。特に、立烏帽子駐車場のトイレは傷みが激しく、修繕が必要であり、早急に対応する必要があると思うが、考えを伺う。</p>		市長 教育長

順位	8	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 平成 28 年度 予算の執行状 況を踏まえて 本市の未来を 創造する	(1) 第 2 期庄原市長長期総合計画が議会で承認され、前期実施計画にもとづき、平成 28 年度予算が議決された。市長部局及び教育委員会の 10 月末現在の予算執行状況はどうか。また、未執行の予算はどのような事業なのか。あわせて、その理由を伺う。		市 長 教育長
	(2) 庄原市予算規則第 11 条の執行計画はどのような内容で、どう実行されているのか伺う。		
	(3) 第 2 期庄原市長長期総合計画に基づき策定された前期実施計画には、当然、優先順位がある。庄原市民会館、庄原自治振興センター、借地の上に立地する田園文化センター（図書館、資料館等）、道路構想、その他重要な事業の取り組み状況を伺う。		
	(4) 来年度の財政計画では、7.3 億円の一 般財源不足を解消するため、歳出削減 5.8 億円、基金取崩 1 億円、その他の削減 0. 5 億円を見込んでいる。毎年度、実施計画 のローリングを行うが、新たな庄原市こど も未来広場（仮称）整備計画によって、他 の事業が後年度へ回されないか伺う。		

順位	8	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
<p>1. 平成 28 年度 予算の執行状 況を踏まえて 本市の未来を 創造する</p>	<p>(5) 駅前構想は進んでいるが、当初より後退しているように思う。現時点での進捗状況を伺う。</p> <p>また、この事業を成功させるためには、全国の優良事例を参考とするための職員派遣が必要と考えるが、派遣計画はあるのか伺う。</p>		<p>市長 教育長</p>

順位	9	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 障害者差別解消法を生かし市民が安心して住めるまちづくりを進めることについて	(1) 法律（障害者差別解消法第3条、必要な施策を策定し実施しなければならない）を具体化した行政運営が求められているが、本市において実現されているのか。さらに、市民からの合理的配慮や相談に応えるため、「対応要領」を定めることが必要と思うが認識を伺う。		市長
	(2) 身体障害者連合会などの団体から、市の福祉タクシー事業に自動車燃料費助成を加え、制度の充実を図ることを目的とした要望が出ていることから、法に基づく合理的配慮を求める。さらに、障害者基本法第10条第2項に定める、社会参加の支援などを行う場合、障害者及び関係者の意見を聞き、尊重するよう努めなければならないとされており、以前市長も同様の答弁をされたが、その実行を求める。		
	(3) 福祉タクシー事業実施要綱の第8条に不正利用の禁止とあるが、障害者及び家族を不正利用する主体としてとらえているのか、不正利用があったのかどうか伺う。		
	(4) 市民への支援など他の補助金交付要綱等に、条文として「不正利用の禁止」と表現されたものがあるのかどうか伺う。		

順位	9	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 障害者差別解消法を生かし市民が安心して住めるまちづくりを進めることについて	(5) 障害者の自家用車の改造補助金は、10万円を限度とし、所得制限もある。他の補助金等の交付制度において、所得制限をしているものがあるのかどうか伺う。		市長
2. 担い手の確保と耕作放棄地を増大させない取り組みについて	<p>長期総合計画では、農業施策の方向性として、主要農産物である米の低価格やTPP問題などの社会背景に加え、担い手不足、高齢化が深刻化していることから農地の集積と多様な担い手の確保が必要であり、農業の持続性を確保するとともに農業所得の向上に努めるとしている。</p> <p>高齢化の実態は、農業就業人口に占める65才以上の割合が75%に達し、75才以上が40%を占めており、今後の担い手の確保は急務となっている。このような中で、農業振興計画では、担い手として認定農業者と集落型生産法人が管理する面積を、平成36年度には50%とすることとしている。それに加え、農林振興公社（作業受託）活用で、平成36年度には30%台の1,500haに取り組むとしている。</p> <p>三者を合わせ、4,800haの水田の約80%台の活用を目標としており、20%に当たる900ha</p>		市長

順位	9	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 担い手の確保 と耕作放棄地 を増大させな い取り組みに ついて	<p>を個人農家に取り組むこととなる。 高齢化率を考えると耕作放棄地が拡大する のではないか。</p> <p>-----</p> <p>(1) 公社活用の取り組みを大幅に引き上げ る必要を感じるが、所見を伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) TPPの動向、米の価格、2018（平成 30）年からの米の作付面積の指示の変更な どで、耕作放棄地の拡大に拍車をかけるの ではないかと思うが、所見を伺う。</p>		市長
3. 土曜日、日曜 日の窓口業務 の本庁実施に ついて	<p>平日は仕事の関係で休むことが難しいた め、個人情報証明書やパスポートの手続き など、限定した事務のサービスを、土曜日、 日曜日に利用できるようにしてほしいとの声 が寄せられている。研究、調査して取り組む ことを求め、所見を伺う。</p> <p>参考に、隣の三次市では平成19年度中ごろ から試行として、3人体制で金曜日は17時15 分から19時まで。土曜日、日曜日は、8時30 分から17時15分まで。12月29日から30日 は、8時30分から17時15分まで、取り組ま れている。</p>		市長

順位	10	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 木山市政の4年間の総括について	<p>(1) 就任して現在までを総括し、公約した政策について実現できたこと、実現できなかったことは何か伺う。</p> <p>-----</p> <p>(2) 実現できなかった政策について、その原因をどのように思っているか伺う。</p> <p>-----</p> <p>(3) 市政を担当されたこの4年間の中で、バイオマス事業や指定管理者制度、アルゼンチン視察、大相撲庄原場所開催などで議会と一定混迷した。市長は、二元代表制の地方自治制度の中で、議会との連携をどのように考えてきたのか伺う。</p>		市長

順位	1 1	質問者	岡村 信吉	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者	
1. 庄原いちばん づくりについて	<p>庄原いちばんづくりを公約とした本市のまちづくりを提唱し、新市長として市政に邁進され、1期4年が経過しようとしている。そうした中、次のことについて伺う。</p> <p>(1) 総体的に現時点での公約の検証と進捗度合、また評価について見解を伺う。</p> <p>(2) こだわり米産地育成について、平成 27 年度、庄原市ブランド米推進協議会が設立され、将来的なブランド米の生産・販売体制の確立を目指すとしている。ブランド米の生産拡大を意図したものと理解してよいか伺う。</p> <p>(3) ブランド「比婆牛」の復活は朗報であり、和牛生産農家の意欲向上につながる大変なヒットだと考える。一方で、生産農家の高齢化による廃業を主因に、飼育農家、頭数ともに減少しており、和牛産地として大きな課題となっている。より具体的な増頭対策について伺う。</p> <p>(4) 和牛TMRセンター誘致計画において、センターの誘致・稼働により、水田の有効利用、和牛飼育での利用効果が見込まれ、耕畜連携に資すると考えるが、センター稼働、全面利用までの課題を伺う。</p>		市長	

順位	11	質問者	岡村 信吉
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原いちばん づくりについて	(5) 林業甦生にとって、産業創出、企業誘致への取り組みが必要との課題があるが、企業誘致に関する取り組みはどのように進捗しているのか伺う。		市長
	(6) 森林整備加速化・林業再生事業に係る間伐、路網整備、境界明確化事業補助金が平成27年度をもって廃止された。本年度以降のこれらの事業への取り組みと補助金の代替措置を伺う。		
	(7) 木の駅プロジェクト事業の取り組み拡大について、その後の進捗を伺う。		
	(8) 有害鳥獣対策の強化に関し、ジビエ活用方策の検討があるが、進捗状況を伺う。		
2. 学校の適正規模・配置の検討について	<p>庄原市教育振興基本計画において、今後の小中学校の適正な規模・配置についての基本方針や方向性を明らかにするため、検討委員会などを設置し、検討を進めることとなっている。このことについて、次のとおり伺う。</p> <p>(1) 児童生徒数の急激な減少が見込まれる中、教育委員会としての危機感と早急な対応の必要性について見解を伺う。</p> <p>(2) 学校適正配置検討委員会での検討の進捗状況を伺う。</p>		教育長

順位	1 1	質問者	岡村 信吉
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 学校の適正規 模・配置の検討 について	<p>(3) 検討委員会への諮問に対する答申において、教育委員会のスタンス、権能について改めて伺う。</p> <p>(4) 適正配置に要する期間について、どのように考えているのか伺う。</p> <p>(5) 学校再配置に関して、シンボルとしての学校存続を求める地域感情と児童生徒の教育の充実を優先する保護者の考え方とが相反する状況にあると考える。これについて教育委員会の見解を伺う。</p> <p>(6) 定住促進施策による急激な児童生徒の増加は見込めないと考える。地域の将来の担い手として、今いる児童生徒が地域にとどまるような教育面からの対策は考えられないか伺う。</p>		教育長

順位	12	質問者	政野 太
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 超高速情報通信網等の利活用について	<p>(1) 超高速情報通信網整備事業について、現段階での加入率、また課題・対応を伺う。</p> <p>(2) 行政告知放送の利活用について、今後の計画を伺う。</p>		市長
2. 広報・広聴事業について	<p>(1) 広報事業「庄原市シティープロモーション」について、改めて、その目的と期待する効果を伺う。</p> <p>(2) 広聴事業「庄原いちばん談義」について、平成26年度が3団体、平成27年度が3団体、平成28年度は1団体と年々減少している状況にあるが、その成果と課題について伺う。</p>		市長
3. 中学校クラブ活動の充実について	<p>中学校のクラブ活動については、生徒本人はもちろん、保護者、地域も大変に関心が高いと認識している。</p> <p>教育委員会としてのクラブ活動に関する認識を改めて伺う。</p>		教育長